

デュプリケータFAQ

フラッシュメモリデュプリケータ（SD/MicroSDカード、CFカード、USBメモリコピー機）

■コピー先メモリの物理容量に関するご注意

▶概要

デュプリケータでは、パソコン上のファイルコピーとは違い、データの最小単位でコピーを行います。この方式ではデータの位置もそのままコピーされるため、コピー先のメモリ物理容量がコピー元より小さい場合、後ろの方にあるデータがコピーできません。コピー元のデータ位置によっては、うまくコピーできないことがあります。

▶Allow tolerance（サイズ許容値）設定

JetCopier FLASHシリーズでは、トラブルを未然に防ぐ為に、物理容量が小さいコピー先メディアを検出した際、コピー前に赤ランプが点灯し、コピーを開始しないよう出荷時に設定されています。現在の設定は「Allow tolerance（サイズ許容値）」の項目でご確認いただけます。変更する場合は、次ページの設定組み合わせ別動作表をご確認の上、十分にご注意してご使用ください。

▶同じ型番の製品でも容量は様々です

同じメーカー、同じ型番の製品であっても、コストや調達性などの理由で、様々な種類のチップを使用します。それぞれのチップは容量や転送速度が異なりますので、同時期に購入したメモリーであっても物理容量が一致するとは限りません。

▶赤ランプが点灯した場合の解決策

赤ランプが点灯して、コピー先のメモリ物理容量が小さいことが分かった場合、コピー先と同じ容量のメモリを用意し、パソコン上でマスターを再度作成し直してください。さらに、フォーマット済みのメモリにファイルを書き直すと、データの配置が整い、より理想的なマスターが作成できます。

■赤ランプ点灯時、改善方法

▶メモリの物理容量について

メモリの正確な物理容量を把握するための機能として、「ディスクジョウホウ」と「ヨウリョウチェック」があります。また、WindowsOS上で表示される容量はフォーマット容量（使用可能な容量）であり、メモリの物理容量とは異なりますのでご注意ください。

▶データの位置について

パソコン上でファイルのコピーや削除を繰り返し行なったメモリは、データの位置が散らばったり、後方になったりすることがあります。WindowsXPのデフラグツール（コントロールパネル→管理ツール→コンピュータの管理→ディスクデフラグツール）などのツールでデータの位置を確認、及び最適化ができます。

1. コピー処理を開始した直後に赤ランプが付く

セットアップ項目内の「Target Tolerance」設定が「100% Same」のように、容量差があると赤ランプを付ける設定になっている場合は、許容可能な条件に変更してください。メモリを接続しているポート（スロット）が故障している可能性があります。900シリーズの場合はモジュール交換を行ってから再試行してください。発生したポートのメモリと正常なポートのメモリを入れ替えて、同じポートだけ再発する場合は可能性が高いです。

2. 毎回同じ位置（処理時間）で失敗する

ソースポート（1番）に赤ランプが付いたらコピー元（ソースポートのメモリ）の特定のデータが読み出せない状態の可能性があります。PC等の他の環境でも正常に使用できる状態かお試しください。

3. 位置は一定しないが繰り返し失敗する

コピー先（ターゲットポートのメモリ）が消耗している可能性があります。長期間使用しているメモリであれば新品への交換を検討ください。デュプリケータの電源が不安定となっている場合があります。電源タップ（タコ足配線）を使っている場合は供給電力が不足している可能性がありますので、別のコンセント口につなぎ直してから再度お試しください。上記の条件に該当しない場合は、デュプリケータで正常に動作しない仕様の可能性がありますので、型番等を控えていただき、購入元または（株）創朋のサポート窓口にご相談ください。

なお、NANDフラッシュメモリは仕様上、新品でもメモリ内に不良ブロックがある可能性があります。処理が実行されることで正常ブロックとの交替がされ、次からは正常に処理されることがありますので、上記の条件に該当しない場合は、繰り返しの処理をお試しいただくのを推奨いたします。

■コピーしたディスクをチェックディスク（CHKDSK）で確認するとRAWと表示される場合

▶現象：コピーしたディスクをWindowsのチェックディスク（CHKDSK）で確認するとRAWと表示される

▶原因：コピー先のディスク容量がコピー元のディスクのパーティション容量より小さい場合、コピー先のディスクにおいて、ディスク容量よりも大きなパーティション容量を割り当てられる為、上記の現象が起こります。同じメーカーの仕様上同じ容量の製品同士であっても、製造時期やロットによって、ディスクの実容量が異なるため、上記の現象が発生することがあります。

▶対策：「7.セットアップ」>「5.サイズムシ」の設定を「セッテイシナイ」から「ムシデキマセン」に変更すると、ディスク同士の容量に差異がでた場合にコピー前に赤ランプが表示され、コピー出来ないようになります。上記方法でマスターをつくり直すことが難しい場合、小さい容量のディスクで予めマスターディスクを作成し、「5.サイズムシ」を設定しない方法もあります。この場合、コピー先のディスクに余白できますが、データエラーにはなりません。